学校番号	３０１４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　新編現代の国語」　（第一学習社）						
副教材等	「ことばを広げる　新漢字ノート」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語を適切に表現する能力や的確に理解する能力を習得し、伝え合う力を高めること。
・さまざまな文章を読んで、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨くこと。
・プリント等の学習課題に関しては真面目に取り組み、提出期限を必ず守ること。
・話し合いや意見の発表に対して積極的に取り組むこと。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会において必要な国語の知識や技能について理解し、それを適切に使うことができるようにする。	「話すこと・聞くこと」の領域において、目的や場に応じて効果的に話したり、聞き取ったりできる。「書くこと」、「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。また、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、文学に親しむことで自己を向上させ、言語文化の担い手として自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	世界を相対化して見る力を身につける。 ［教材］ 十六歳の時	a：教材の学習を通して、自らを取り巻く「人間の風景」というものを見つめ直し、「人間の風景」とはいかなるものかを読み解くことができる。 b［読］：旅が「世界を相対化して見る目を初めて与えてくれた」とはどのような意味か、筆者の経験を押さえつつ理解できる。 c：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やし、別の角度からものをみる思考を行おうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読 課題の提出	授業態度 発表 課題の提出
	言葉を通して著者の生き方について考えをもつ。 ［教材］ 臆病な詩人、街へ出る	a：文章の種類を踏まえて、内容や厚生、展開などを的確にとらえる方法を理解できる。 b［書］：他者との触れ合いを通して自身の生き方や人生を振り返る著者の姿を見つめて文章に考えを書く。 c：自分自身の考えを原稿用紙の文章によって伝えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読 課題の提出	授業態度 課題の提出
二学期	言葉が開く世界 ［教材］ 言語としてのピクトグラム	a：常用漢字を文章の中で活用している。外来語「言語」の意味について理解できている。 b［ 話/聞 ］：日本と諸外国の例について、自らの意見や考えを論述し説明している。 c：筆者の意見を読み解き、自分の認識の仕方を振り返ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読 課題の提出	授業態度 課題の提出
	生活の中の表現 ［教材］ 図書委員会のポスターの掲示内容を検討する	a：常用漢字を文章の中で活用している。ポスターの実用的な特徴を考える。 b［ 書 ］：これまで学んできた実用的な文章の違いと実生活での役割を理解している。 c：各資料の概要と状況設定を理解し、ポスターの修正案を作ることができる。		定期考査 授業態度 課題の提出	授業態度 発表 課題の提出
	日常の日本語の不思議について考える。 ［教材］ 言葉の海のオノマトペ	a：文章の形態や文体の違いによる特色について理解することができる。 b［書］：日常のオノマトペの意味や効果について考え、まとめたものを発表することができる。 c：人物、情景、心をどのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の扱い方や美しさや深さに気付こうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読 課題の提出	授業態度 発表 課題の提出
三学期	哲学的な問題に対して根拠を示して意見を言うことができる。 ［教材］ 弱いロボットの誕生	a:普段使っている日本語の表現を見つめなおし、弱さというのを備えたロボットの話を通し、筆者の述べる日本語の特徴を読み取ることができる。 b：［読］章構成における対比関係がどのような効果をもっているかを理解することができる。 c：生徒が自分自身の話している言葉に対して、より自覚的・意識的になろうとし、「言葉の理解・表現」について根拠を示して伝えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読 課題の提出	授業態度 課題の提出
	生活の中の表現			定期考査	授業態度

	［教材］ 法律の改正に関わる文章を読み比べる	a:常用漢字を文章の中で活用している。 法律の文章が、どのような独特の構成・表現で書かれているのか理解している。 b[読]:法律の資料を読み比べる方法を理解する。 c:異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。		授業態度 発表 課題の提出	発表 課題の提出
	社会と人間 ［教材］ 人はなぜ仕事をするのか	a:常用漢字を文章の中で活用している。 筆者の提言・疑問を的確に理解している。 b[書]:筆者の仕事観について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c: 筆者が述べる仕事の本質について考察し、自らの意見や考えを整理し、表題の答えを積極的に捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読 課題の提出	授業態度 発表 課題の提出

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間